

# 松山市教育会情報

発行所 松山市教育会  
松山市祝谷町1-5-33  
☎ 089-933-0354  
発行者 高橋 猛  
編集 調査研究部

## 現・退一体の組織的・協同的な活動を



会 長  
高 橋 猛



「子規さん俳句かるた」より

松山市教育委員会 編  
松山市立子規記念博物館 監修

この度、松田邦雄前会長の後を継ぎ松山市教育会のお世話をさせていただくことになりました。誠に微力ではありますが、副会長さんや専門部長さん、理事及び支部長さん、事務局の方のご協力を得ながら、精一杯務めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本会活動の目的は、会員相互の親和提携を図ること、教育に関する調査研究や研修によって、松山市教育の進展に寄与することです。そして、本会の特異的な長所は、学校教育の現職とOBで組織し、松山市の子どもたちの教育に携わる共通の目的を有していることです。

今、子どもたちは物や情報に溢れた便利な世の中で暮らしていますが、一方で「心の問題」、「健康の問題」、「学力の問題」、「人間関係の問題」、「安全の問題」等々、多くの課題を抱えています。このような多様な教育課題に日々取り組んでいる学校現場の先生方は、年々多忙感が増してきています。「少しでも学校教育のお手伝いができ、教育課題解決に向けての一助となれるような教育会でありたい。」「教育会OBが、一地域住民の立場から学校と地域との教育の架け橋としての役割が果たせる教育会でありたい。」そのような現・退一体となった松山市教育会でありたいものと夢を描いています。

言うは易い大きな夢ですが、大きな夢の実現も、目の前の小さな活動や地道な努力の積み重ねの延長線上に見えてくるものです。どのような活動ができるか、どのような事業が必要か、役員や会員の皆さんと共に考え、共に歩んでいきたいと願っています。

また、教育会が組織的・協同的な活動を推進していくためには、会員相互がしっかりと理解し合い、力と知恵を結集することが基本です。会員相互の交流を深めるとともに、現職・OB間や支部間、ブロック間の交流を一層深めることが重要です。そのためにも、各専門部長さんを中心に、各事業や研修のさらなる充実を図っていききたいと思います。

くしくも、本年度は愛媛県教育会の創立50周年記念行事開催年であり、来る6月25日には記念式典や記念講演、祝賀会などが開催されます。教育会の価値や役割を確認し合い、今後の展望に大きな期待を寄せる絶好の機会だと思います。併せて、松山市教育会の充実・発展を果たす年となるよう心から願うものであります。

終わりにりましたが、松山市教育会3000余名の会員の皆さまのご健勝とご活躍、ご協力を心より祈念し、就任のご挨拶といたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 平成27年度 会務並びに事業報告

松山市教育会

## 1 会員構成

		平成27年度	平成26年度	増減	備考
正会員	現職	2,171名	2,191名	△20名	会費納入者数
	O B	955名	994名	△39名	
特別会員(O B)		13名	23名	△10名	
準会員		3名	4名	△1名	元会員家族
賛助会員(PTA等)		21名	17名	4名	
合計		3,163名	3,229名	△66名	

## 2 役員 (任期2年の2年目)

会長	松田 邦雄	副会長	隅田 浩
副会長	高橋 猛	監事	畑中 靖祥
副会長	大江 保	監事	森田 悦雄
副会長	窪田 一生		

※理事・専門部員は省略

## 3 行事報告

月	日	行事名	概要
4	1	退職会員名簿作成申込書	前年度末退職会員から支部を通じて提出
4	21	会計監査	監査
4	21	役員会(会長・副会長)	事業報告・決算・活動方針・予算案等の審議
5	7	第1回 理事会・専門部会	総会資料の審議
5	12	総会役員打合せ会	総会運営の審議
5	16	定期総会	事業報告・決算・活動方針・予算・役員選出(全議案原案通り可決)
5	16	会費集金開始	納入期限 7月5日
6	5	第2回 理事会・専門部会	部編成・活動計画・支部長会資料審議
7	3	第1回 支部長・事務局長会	専門部の活動計画
8	5	教育講座①	心理技法(渡邊 俊 先生)
8	26	教育講座②	道德教育(山岡 健二 先生)
8	20	日連教富山大会	～8月21日(富山県民会館)
8	24	支部活動費支給	～9月11日
8	29	高齢者慶祝記念品配布	～9月15日 支部長(事務局長)を通じて本人の元へ
9	3	教育功労者推薦委員会	推薦者審議
9	10	第3回 理事会・専門部会	教育功労者選考、まつやま教育フォーラム等運営審議
10	2	第2回 支部長会	夏季行事報告・教育功労者推薦の件、懇親会
11	1	えひめ教育の日推進大会	八幡浜市文化会館(ゆめみかん)で開催
11	14	まつやま教育フォーラム27	「二宮忠八物語」坊っちゃん劇場アウトリーチ事業部
11	20	役員会	本年度事業の反省と来年度事業の方向付け
1	16	教育を語る会	海外の教育事情(市教研と共催)
1	24	松山市青少年育成市民大会	松山市教育会に10名の参加要請
2	5	第4回 理事会	本年度の反省と来年度の計画
2	19	第3回 支部長会	本年度の反省と来年度の計画

## 4 主要行事及び専門部活動

- (1) 「まつやま教育フォーラム27」  
 11月14日(土曜日)「えひめ教育の日」関連行事  
 ア 開会式 報賞者(7名)  
 イ 講演会 演題 「二宮忠八物語」  
 参加者 150名  
 講師 坊っちゃん劇場アウトリーチ事業部  
 ウ 懇親会 参加者 50名(内、高齢慶祝者7名出席)
- (2) 調査研究部  
 ア 教育講座  
 ① 「心理技法講座」  
 8月5日(水曜日) 56名 出席  
 講師 県総合教育センター 渡邊 俊 先生  
 ② 「道德教育講座」  
 8月26日(水曜日) 44名 出席  
 講師 県総合教育センター 山岡 健二 先生

- イ 会報「松山市教育会情報」  
 86号(6月1日発行) 87号(10月1日発行)  
 88号(2月1日発行)  
 ウ 「文教月報」執筆協力
- (3) 福利厚生部  
 ア 文化講座  
 (ア) 俳句交換会 毎月 講師 吉田 晃先生  
 11名 講師 近藤 良郷先生  
 (イ) ヨガ講座 月1回(第2土曜日午後)  
 15名 講師 藤本ヨガ学院の先生  
 (ウ) 川柳教室 月1回(第3水曜日)  
 15名 講師 関谷 省三先生  
 (エ) 囲碁将棋教室 月1回(第1土曜日午後)  
 20名 将棋講師 大場 武志先生  
 (オ) 詩吟教室 月1回 講師 伊賀上峰山先生  
 8名 (月末月曜日10月から実施)

## イ 慶弔関係

## (ア) 高齢慶祝者

傘寿（本年度中に満80歳を迎えられた方）

47名

白寿（本年度中に満99歳を迎えられた方）

2名

## (イ) 教育功労者 平成27年度分……総会にて表彰

県表彰 橋本 英厚 氏（北条）

武市 徹 氏（桑原）

市表彰 西川 祥子 氏（荏原）

豊田 康二 氏（高浜中）

宮内 裕子 氏（椿小）

岡村 健一 氏（久米小）

友近 恵子 氏（味酒小）

## (ウ) 報賞者（本会役員在任4年以上の退任者）

……フォーラムにて表彰

OB会員 1名

現職会員 6名

## (エ) 現職表彰祝金該当者

文部科学大臣教育者表彰 1名

文部科学大臣優秀教職員表彰 3名

愛媛県優良教員表彰 6名

## (オ) 会員物故者

会員 34名（含現職会員 2名）

## (4) 対策部

ア 教育を語る会……1月16日（土曜日）

※ 市教研と共催で実施

講演 「ネパールにさく小さな花」

講師 ヒマラヤ小学校運営委員 吉岡 大祐 氏

参加者 170名

## イ 松山市青少年健全育成市民大会参加



# 平成28年度 活動方針並びに事業計画

松山市教育会

## 1 活動方針

### (1) 組織の活性化

- ・支部活動及び地域ブロック活動の充実・強化
- ・現職会員とOB会員との連帯提携の緊密化
- ・本支部間の連絡の緊密化
- ・新退職者及び未加入者の入会促進と賛助会員の勧誘による組織の充実・強化

### (2) 会員の親和と厚生・研修活動の充実

- ・調査研修活動の充実
- ・広報活動の充実
- ・現職会員の研修活動への支援強化  
(「教育講座」の充実)
- ・会員相互の親和連携の推進

### (3) 関係諸団体・地域社会との連携強化

- ・「えひめ教育の日」への参加協力と愛媛県教育会活動との連携
- ・青少年の健全育成活動と関係諸機関との連携
- ・公民館等の社会教育活動との連携
- ・学校教育活動への協力と支援

## 2 事業計画

### (1) えひめ教育の日記念「まつやま教育フォーラム28」11月12日(土曜日)

- ・開会式開会式の中で、本会運営に貢献された役員への報賞を行う。
- ・講演会教育講演会等(形式・内容等を検討中)
- ・懇親会教育功労者・報賞者・高齢慶祝者の祝賀および会員の懇親を行う。

### (2) 調査研究活動

- ・教育講座の開設夏季休業中に2回程度
- ・松山市教育研究大会に対する援助・協力(第32回市教研大会)
- ・組織局(壮年・青年部)への研修補助
- ・日連教大会への参加(研修補助)
- ・会報「松山市教育会情報」の充実(年3回発行)

89号(6月1日発行)

90号(10月1日発行)

91号(2月1日発行)

- ・「文教月報」執筆協力

### (3) 福利厚生活動

- ・各種同好グループの活動に対する育成援助

#### ア 囲碁将棋教室

月1回(第1土曜日午後)

講師 大場 武志先生(将棋)

#### イ 俳句交換会

毎月 講師 吉田 晃先生

講師 近藤 良郷先生

#### ウ ヨガ講座

月1回(第2土曜日午後)

講師 藤本ヨガ学院

(脇坂 恭子先生)

#### エ 川柳教室

月1回(第3水曜日午後)

講師 栗田 忠士先生

#### オ 詩吟教室

月2回(月曜日午前)

講師 伊賀上峰山先生

- ・慶弔関係

#### ア 高齢慶祝者

傘寿(本年度中に満80歳になられる方) 35名

白寿(本年度中に満99歳になられる方) 5名

#### イ 物故者への弔慰(支部長と連携)

### (4) 対策活動

- ・「教育を語る会」の企画・運営(市教研と共催)
- ・「松山市青少年育成市民会議」との連携・協力
- ・教育関係諸機関・地域社会との連絡提携とボランティア活動の推進

## 平成28年度 松山市教育会役員名簿

役職名	氏名	学校名・支部名	出身役職名	備考
会長	高橋 猛	石井 東	O B	
副会長	青野 郁恵	八坂	O B	
副会長	横田 公博	みどり小	市教研会長	新規
副会長	中尾 順子	清水 小	小校長会長	新規
副会長	村上 典	道後 中	中校長会長	新規

## OB

役職名	氏名	支部名	出身役職名	備考
1 区理事	加藤 和子	番町	O B	
2 区理事	伊賀上 郁夫	桑原	O B	
3 区理事	加地 勝重	味生第二	O B	
4 区理事	岡田 卓士	宮前	O B	
5 区理事	鈴木 清	潮見	O B	
6 区理事	平野 忠司	湯山	O B	
7 区理事	高橋 猛	石井 東	O B	
8 区理事	白潟 康隆	久米	O B	新規
9 区理事	濱本 昇	粟井	O B	新規

## 現職

役職名	氏名	学校名	市教研役職名	備考
理事	砂田 孝夫	八坂小	市教研副会長	
理事	森 健	勝山中	市教研副会長	新規
理事	森本 久美	生石小	市教研副会長	
理事	石丸 誠司	味酒小	研究部長	
理事	有森 和明	日浦中	法制対策部長	
理事	池田 尊之	椿小	情宣部長	新規
理事	沖廣 祥子	高浜小	編集部長	新規
理事	武田 知行	北久米小	福利厚生部長	
専門部員	宮内 博之	双葉小	壮年部代表男	新規
専門部員	村瀬 治美	番町小	壮年部代表女	新規
専門部員	水野 浩司	雄郡小	青年部代表	新規
専門部員	國廣 圭吾	北条北中	事務職員部代表	新規
専門部員	木村 勝也	難波小	へき地・小規模校部代表	新規
専門部員	木谷村 美香	高浜中	養護教員部代表	新規
専門部員	大元 聖子	久谷中	栄養職員部代表	新規
専門部員	山中 茂明	湯築小	小学校教頭会代表	
専門部員	渡部 勇二	鴨川中	中学校教頭会代表	新規

役職名	氏名	学校名	市教研役職名	備考
監事	橋本 雅邦	河野	O B	新規
監事	牟田 智子	高浜中	市教研監事	新規
事務局	清水 謙三	愛媛文教会館内	市教研事務局	
	大田 宏美			

# 大人の修学旅行&野外体験活動 (自然の家)

## —今昔の教科書を再び訪ねる旅—

松山市教育会北久米支部 堀田 優子



小学校、中学校、高校、大学…と、それぞれの時代にし残した宿題をやり直したり(当時よりは丁寧に)、それぞれの時代に置いてきた忘れ物を取りに行ったりしています。

——なぜ?不思議!おもしろい!!——当時、これらが教科書やノートから飛び出し、自由に駆け回ることにはなかった…

埋み火となって残っていた思いに息を吹きかけ、心残りのない灰となるよう、成仏させてやることにしています。

### 【かまくら】

小学4年生の社会科で初めて知った雪国の風物詩。大三島に降る雪では想像もつかなかった。昭和37年の情報源は教科書の写真と先生が用意してくれた四つ切り大の写真パネルだけ。

行ってみるしかない。10年前、秋田の横手市を訪ねた。かまくらの中の暖かさを実体験。宿近くの小学校の校庭、低鉄棒はすべて雪の中。「あ、あれがジャングルジムじゃない?!」って感じ。

### 【ツンドラ】

これも大三島では感じきれなかった。当時、「ツンドラ・永久凍土」とペアで記憶した。「タイガ」は単独で、「タイガ・針葉樹林(北方林)」とは記憶されなかった。それほどに「ツンドラ」への関心度が高かったのだと思われる。永久凍土って…一体…

触れてみるほかない。2000年(8月)2014年(9月)と二度アラスカを訪ねた。マッキンリーの北側でキャンプをした。夜はもちろん氷点下、昼間ももちろんベリーの根っこはシャーベット状態の土の中。大三島で体感した真冬の霜柱が、夏のアラスカの地表全土を覆っていた。デナリは大きな自然の家。

### 【田中正造】

“負の遺産から学ぶ”目に焼き付けておかななくてはならないものがある。子どもたちとの修学旅行では行かない所。足尾荒廃地・渡良瀬川・銅の精錬etc 想起できる「過去の日本」がだれの心にもあるだろう。

徳川家の力を再確認するために、もし日光を訪ねたら、ちょっと足を伸ばして、未だに赤茶けた草木の生えていない足尾治山事業の現状を見るのもいい。

### 【原生林】

海にしろ山にしろ林にしろ森にしろ、瀬戸内の大三島ではなかなか捉えられるものではない。そこへ舞い込んだ世界自然遺産・白神山地のブナの原生林。現在の国語教科書掲載中。

入り込んでみるほかはない。白神山地の縦走だ。日帰り登山では広大な原生林は味わえないとの認識。ガス・電気・水はなく、屋根・壁・床だけの避難小屋で夜を明かす。環境保全のため標識もなく、動物的勘のみで獣道らしきものを探り当てて進む。無論入山許可証持参。

### 【湖畔・読書】

「黒田清輝」という画家の名前よりも作品名と女性のあでやかさが心に住みついていた、中学校の美術科。この春やっと本物に出会えた。上野の森で若沖とともに。

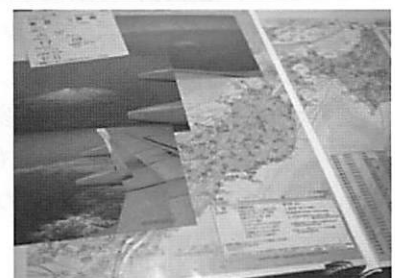
松山は葉桜。東京は花吹雪。

マップとともに北上し、機内より月山～鳥海山～岩木山を確認。

弘前城は満開の桜祭り。

津軽海峡の海底で北海道新幹線に拍手を送り、函館の五稜郭では五分咲きの桜に迎えられた、今年の春の『大人の修学旅行』。土地を訪ね、歴史をたどり、大切にとっておいた宿題を片付けていく。

さて、次は っと!



## 文化講座紹介

—二十七年会員の作品—

## ●俳句

肩揉みて老母の声聞く夏座敷

池田 本庄

春近し目つむりて聴く波の音

大河内 町子

春シヨール少し気取って銀座まで

小池 郁子

ほうたるや天折の友今も恋し

姫野 だるま

寒暁や退きてなほ見る職の夢

松任谷 由実男

ちぎり絵の団扇で作る風軽き

松本 豊香

番い鴨人間社会逆撫です

宮田 頼行

しばらくは葬花となりて牡丹雪

三好 靖子

芭蕉塚囲ふ札所の曼珠沙華

森田 章夫

## ブロック紹介

## 楽しかったミュージカルの観劇

## 第2ブロック理事 伊賀上 郁夫

第2ブロックは、新玉小・雄郡小・素鷲小・たちばな小・双葉小・桑原小の6校と拓南中・雄新中・城西中・桑原中の4校、計10校の小中学校から構成されています。

年度当初の支部長会の後、ブロック会を開いて各支部での取組や情報交換を行う中で、活動計画や実施方法等について話し合っています。他のブロックと同様、学校現場の多忙さに加え、会員の高齢化や減少により活動全体が低調化傾向となり、現職・OB共に会員が集まりにくい現況ですが、互いに知恵を出し合って、会員の誰もが、楽しく、気軽に参加できる活動ができないものかと話し合っています。

27年度は、新たな試みとして「夕焼けビートルロック列車」や「奥道後壺湯の守観劇プラン」を現地に出向いて検討しました。けれども、各支部間での日程調整が難しく、従来通り「教育懇話会」をにぎたつ会館において開催しました。各支部より、現職9名、OB会員12名の参加がありました。自己紹介の後、各支部の活動報告、吟詠、乾杯に続いて、現職会員とOB会員とが和やかな雰囲気の中で、互いに酒を酌み交わしながら、笑顔で歓談し、教育を語り、人生を語り、さらに自慢のカラオケも加わり、時間が経つのも忘れるほど大いに盛り上がり、充実した意義ある一日となりました。

26年度は、ブロック活動のマンネリ化を防ぐために、何か違った取組をしようと話し合った結果、例年桑原支部が「一日研修旅行」として実施していた、坊ちゃん劇場でのミュージカル観劇と利楽での懇親会をセットにして、ブロック合同で実施しました。当日は晴天にも恵まれ、現職11名、OB会員12名の参加を得て、無事に実施することができました。

ミュージカルは、初代道後湯之町町長、伊佐庭如矢の活躍を「道後湯の里」ものがたりとして、脚本家のジェームス三木氏が書き下ろした作品です。笑いあり、涙あり、ユーモアありの、役者さんの素晴らしい心意気と熱演に感激し、実りの秋にふさわしい、さわやかな充実した一日となりました。また、懇親会では、支部活動の情報交換を行う中で、昔話に花を咲かせたり、互いの健康等について話し合ったりして、楽しく酒を酌み交わしながら祝吟やカラオケで盛り上がり、会員相互の親睦を深めることができました。

支部活動やブロック活動の参加者が年々減少し、固定化傾向にあることが気掛かりですが、今後は他のブロックの活動内容等も参考にしながら、様々な行事を通して、現職とOB会員が一体となって心のつながりや絆を深め、一人でも多くの会員が参加することができるように、微力ながら努力していきたいと思えます。